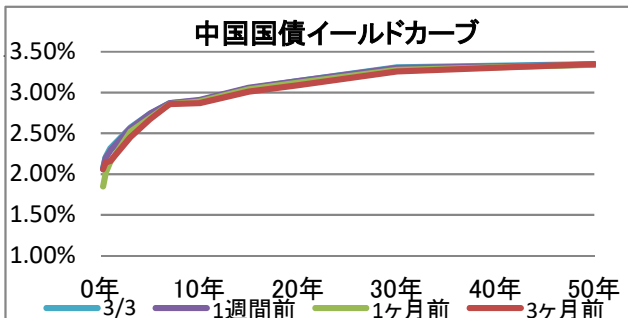
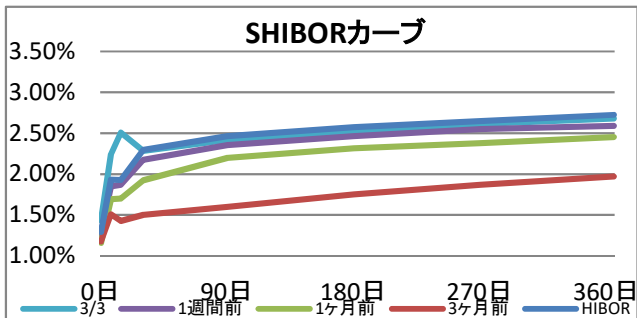


基準レート		2023/3/3	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9117	+0.0175
	JPY/CNY	5.0576	-0.0691
SHIBOR	3M	2.4660%	+0.0500%
国債利回り	10年	2.90%	-0.01%
上海総合指数		3,328.39	+61.23



(1) 概況

国際金融市場では、米国で市場の予想を上回る経済指標の公表が続く中、FRBの金融引き締め長期化への懸念等から長期金利が上昇したが、外為市場は動意なく横ばい推移が続いた。週末にかけては、株式市場が景気に対する安心感から反発する中で金融引締め長期化懸念が幾分和らぎ長期金利は若干低下。

中国金融市場では、全人代を控えて小幅な値動きにとどまる中、PMIの回復や全人代での景気対策への期待から株価は3300台の大台を上回る上昇が続く一方、債券市場は動意なく、短期が若干上昇した以外は概ね横ばい推移。外為市場では、米長期金利の4%を超える上昇によるドル高から6.95台まで上昇したものの、6.90台に戻して週末を迎えている。

中国では、全人代を控えて政策等の公表が限定的となっていたが、昨日から全人代が開催され、政治活動報告の中で本年の成長目標を5%前後と、昨年の5.5%程度から引下げている。人民銀行の易行長が記者会見で、よりのを絞った穏健な金融政策の推進とともに、構造的金融政策による特定産業向けの再貸出残高が人民銀行バランスシートの15%程度に達したことを示し、銀保監会は、金融機関のリスク防止の観点から、「共同信用供与の試行プログラムの更なる改善に関する通知」を公表し、証監会は、証券取引所に対して保険資産管理会社の資産証券化やREIT業務の展開を支援するよう指示し、市場の安全と効率的な運営を維持するため「証券先物業のネットワークと情報安全管理法」を制定。また、広東省政府が大湾区（グレートベイエリア）における国際金融ハブ建設方針を含む「金融発展を支援する行動計画案」を公表し、深圳証券取引所は、ロンド運証券取引所グループと証券金融サービスに関する関係強化覚書を締結。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日14,900億元に対し、リバースオペ10,150億元を実施し、ネットで4,750億元を吸収。

(3) 主な経済指標

国家統計局PMI（2月）は、製造業が52.6%（1月、50.1%）と2012年4月以来の高水準となり、非製造業が56.3%（同、54.4%）、総合では56.4%（同、52.9%）と、いずれも50%を上回り、1月対比改善。特に製造業では、新規受注の54.1%を含め殆どのサブ指数が50%を超えたほか、非製造業も、建設や道路・航空運輸、宿泊等コロナの影響を強く受けた業種が60%を超えるなど、回復が鮮明になっている。

財新PMI（2月）は、製造業が51.6（1月、49.2）と7か月振りに50を上回ったほか、サービス業が55.0（同、52.9）と昨年9月以来の高い水準となり、総合では54.2（同、51.1）と、国家統計局PMIと同様、回復が鮮明になっている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2910%	1.4500%	1.3000%	
1W	1.9310%	2.0400%	1.6000%	
2W	1.9270%	2.2000%	2.2000%	1.9000%
1M	2.2950%	2.4000%	2.4500%	5.5200%
3M	2.4660%	3.5000%	2.6500%	5.5300%
6M	2.5740%	3.1000%		2.6200%
9M	2.6470%	3.6000%		2.7100%
12M	2.7250%	2.9563%		2.7600%

中国人民銀行は2月末までは積極的な資金供給を維持していたが、3月に入ると余剰資金の吸収に転じており、全人代や四半期末が意識されてターム物の金利水準は高止まり。四半期末越えとなるターム物の出合いは、1ヶ月が2.8%前後で取引されている以外は限定的となっている。

NCDも、四半期末越えを意識した取引となり、金利水準はじりじりと上昇する展開が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月と3ヶ月が2.50%前後、6ヶ月が2.6%台、1年が2.75%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	4.61%	4.63%
1W	4.70%	4.75%
1M	4.85%	4.95%
3M	5.20%	5.30%
6M	5.25%	5.35%
12M	5.35%	5.45%

堅調な経済指標やFRB高官の発言から金融引締めの長期化懸念が高まり、ビッド仕かりの展開となって短期取引が中心の状況が続いており、ターム物の出合いは限定的。ターム物の金利水準は、1ヶ月が4.9%台で取引され、3ヶ月では5.2%台後半が取り気配となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.07%		2.54%	2.67%	2.73%
6M	2.21%		2.64%	2.75%	2.91%
1Y	2.32%	2.33%	2.76%	2.86%	3.05%
3Y	2.57%	2.67%	2.98%	3.21%	3.76%
5Y	2.74%	2.82%	3.11%	3.38%	4.10%
10Y	2.90%	3.06%	3.31%	3.60%	4.43%

全人代を控えていることから狭いレンジ内での値動きに終始。米国では金融引き締め長期化懸念を背景に、10年国債利回りは一時4%台に上昇後に3.95%（前週比+1bp）に戻しているが、10年中国国債（2.90%、同-1bp）に対する利回りは上回り幅は+105bp（同+2bp）に小幅に拡大している。

国内資金需給を映じて短期での利回り上昇が続いたものの、全人代を控えて中長期は概ね変化がなかったことから、イールドカーブは一段とフラット化している。また、クレジットスプレッドは、政策への期待から相対的に信用債が買われやすかったことから小幅ながら縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-154.5 / -153.5
3M	-473.0 / -471.0
6M	-970.0 / -966.0
9M	-1455.0 / -1450.0
12M	-1875.0 / -1870.0

対ドル基準レートは6.9117と前週末比+175pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0576と同-69pipsの円安元高と、市場でのドル高を映じた設定となっている。中国国内市場では、米国での金融引き締め長期化や台湾をめぐる米中関係悪化を背景に一時6.95台までドル高元安が進んだものの、全人代を控えていることやドル高が一服し、中国の経済指標が経済回復を示したこと等から、6.88台まで下落後に6.90台に戻して週末を迎えている。

先物は、米国金融引き締め政策の長期化懸念が更に高まりマイナス幅が拡大しているものの、人民元金利水準も上昇を続けたことから、1年物でも-1800台での取引が続き、週後半に-1800台後半までマイナス幅を拡大する展開となった。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.32%		1.68%
6M	2.37%	2.58%	1.91%
9M	2.41%	2.64%	1.98%
1Y	2.45%	2.74%	2.02%
3Y	2.77%	3.13%	2.03%
5Y	2.98%	3.41%	
7Y	3.11%	3.56%	
10Y	3.23%	3.69%	

スワップ金利は、債券利回りは横ばいとなったものの、短期金利が上昇傾向を維持していること等もあってやや上昇しており、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも小幅拡大している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。